

平成21年度  
学校改善支援プラン

# I 全体的な分析

## 「知識(A)」と「活用(B)」の3年間の平均正答率からみた状況

小・中学校の国・算・数のA・B、いずれも全国平均を大きく上回り、大変良好であるといえます。

<小学校第6学年>

	H19	H20	H21
国語 A	86.1 (+4.4)	74.4 (+9.0)	75.3 (+5.4)
国語 B	69.0 (+7.0)	62.9 (+12.4)	60.4 (+9.9)
算数 A	88.4 (+6.3)	80.7 (+8.5)	86.2 (+7.5)
算数 B	68.6 (+5.0)	58.9 (+7.3)	63.7 (+8.9)
4項目の合計	312.1 (+22.7)	276.9 (+37.2)	285.6 (+31.7)

<中学校第3学年>

( )内の数値は全国比

	H19	H20	H21
国語 A	85.4 (+3.8)	78.6 (+5.0)	82.3 (+5.3)
国語 B	77.0 (+5.0)	66.8 (+6.0)	81.8 (+7.3)
数学 A	77.5 (+5.6)	70.1 (+7.0)	68.8 (+6.1)
数学 B	65.3 (+4.7)	54.7 (+5.5)	63.4 (+6.5)
4項目の合計	305.2 (+19.1)	270.2 (+23.5)	296.3 (+25.2)

## 成果の要因

- 熱心に前向きに授業に臨む子どもたち
- 自分の考えを書いたり話したりしながら、話し合いや意見交換を深める授業
- 実態に応じた補充的な学習と望ましい家庭学習の習慣
- 学校・家庭・地域の固い連携
- 校内研修及び区市町村の施策・事業など研修システムの充実
- 家庭での望ましい生活習慣

## 要因につながるデータ

質問紙調査の結果を全国と比較すると、ほとんどの項目で肯定的な回答が多くなっています。特に、次のような項目で安定して高いことが成果の要因といえます。

### <児童生徒質問紙>

- ・ 7時前に起きますか (小+15.3、中+17.3)
- ・ 学校の復習をしていますか (小+37.2、中+30.6)
- ・ 地域の行事に参加していますか (小+15.7、中+ 8.5)
- ・ 授業で友だちと話し合う学習 (小+ 5.1、中+19.6)

### <学校質問紙>

- ・ 授業中、落ち着いている (小+ 4.8、中+ 6.4)
  - ・ 放課後、補充的な学習サポート (小+12.6、中+16.9)
  - ・ 学校公開日 (小+13.8、中+10.9)
- ※( )内の数値はH21の全国比

平均正答率を見ると、復習をしている子どもほどよい成績をとっている。

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
復習する	78.5	63.8	88.3	67.3
復習しない	62.3	47.4	76.2	50.4

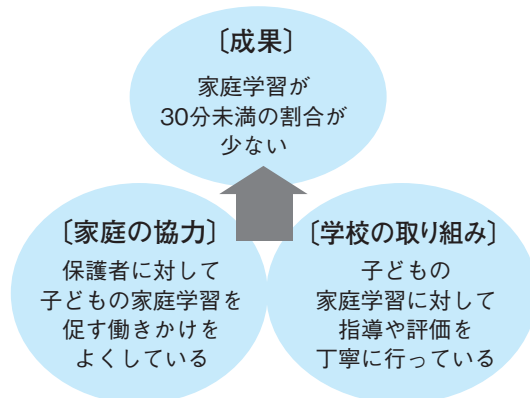


復習すると授業がもっとわかるわ



授業が分かりやすいから復習しなくても...

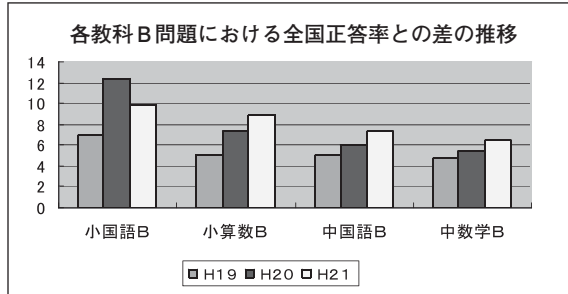
学校や家庭など複数の協力により、次のような成果も表れてきています。



## 「活用」にかかわる学力の定着について

### 成 果

「活用」にかかわる問題において  
全国平均正答率との差が、年々大きくなっている



### 課 題

<国語> 伝えたいことを条件に即して明確に書く

		秋田県	(全 国)
H19	中学校B 設問番号3三	45.7%	(42.6%)
H20	中学校B 設問番号1三	32.2%	(26.5%)
H21	小学校B 設問番号1二	22.0%	(17.7%)
H21	小学校B 設問番号2二	35.2%	(25.7%)

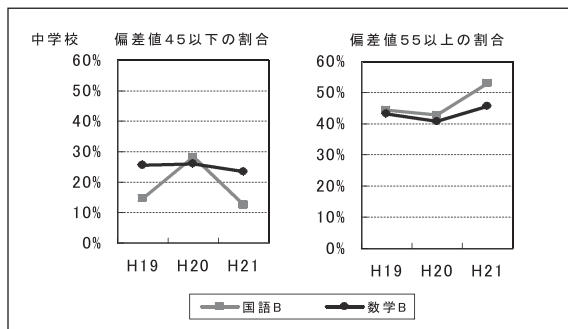
<算数・数学> 事実や方法、理由等を説明する

		秋田県	(全 国)
H19	中学校B 設問番号5(3)	46.1%	(38.7%)
H20	中学校B 設問番号5(3)	17.9%	(12.5%)
H21	小学校B 設問番号5(3)	26.2%	(17.7%)
H21	中学校B 設問番号3(3)	26.9%	(19.1%)

## 中学校での一層の学力向上について

### 成 果

中学校B問題において  
下位層（偏差値45以下）の割合が減少し  
上位層（偏差値55以上）の割合が増加している



### 課 題

<中学校で改善したい生徒質問紙項目>

質 問 項 目	小学校	中学校
自分で計画を立てて勉強する(26)	68.1%	46.2%
苦手な教科の勉強をする(30)	70.8%	63.0%

<偏差値45以下の割合>

H21 調査	小学校	中学校
国語A	14.1%	15.4%
国語B	11.8%	12.6%
算数・数学A	12.5%	20.7%
算数・数学B	21.5%	23.5%

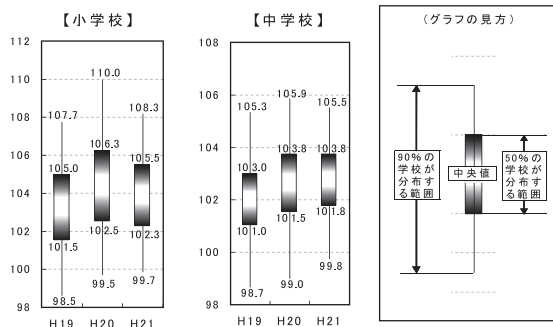
偏差値45以下の割合が小学校より中学校の方が多い

## 地域・学校による格差について

### 成 果

県内の市町村の学力は、全国水準以上になってきており学校による格差も小さくなってきている

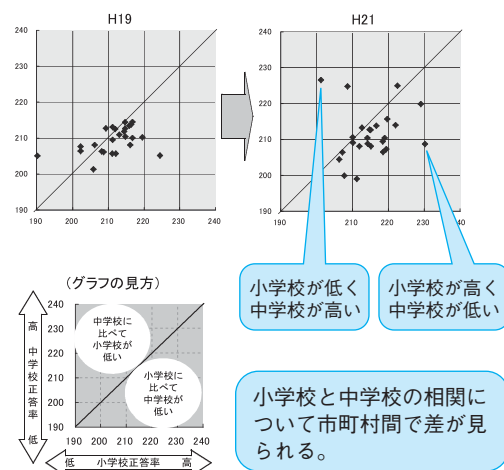
標準化得点の合計の分布（学校）



※標準化得点・・・平成21年度調査、平成20年度調査及び平成19年度調査の全国の平均正答数がそれぞれ100となるように標準化した場合の得点

### 課 題

市町村別の小学校と中学校の相関比較  
(4項目偏差値の合計)



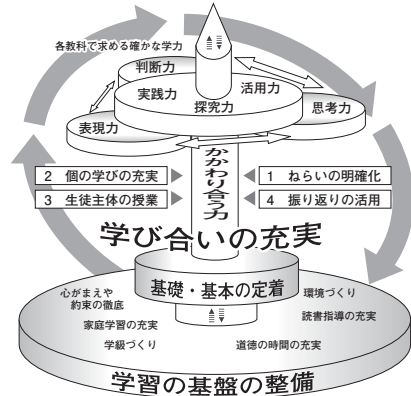
## II 特色ある取り組み

### 学び合い・かかわり合いを充実させる取り組み

<A 中学校 学級数22>生徒の心を育て生活を安定させるために、かかわり合う力をはぐくむ学級づくりやかかわりに重点をおいた道徳の時間の充実など、学習の基盤整備に生徒指導の機能を生かすとともに、学び合いを通して確かな学力の定着を目指して取り組んでいます。

- 心を育てて生活の安定、学力の向上を図る
  - ・年間を通しての登校指導、生徒への声かけ
  - ・適応指導教室の充実（個別指導による学力向上）
- 共感的人間関係を生かして「学び合い」の充実
  - ・かかわり合う力をはぐくむ学級づくり
    - 思いやる言葉とかかわり合いの場面の積極的な創出
  - ・ねらいを明確にした学び合いの充実
    - 教科で身に付けさせたい確かな学力の明確化
  - ・生徒主体の授業づくり
    - 生徒が考え、話し、聞き、書き、評価し合う授業
  - ・かかわりに重点をおいた道徳の時間の充実
    - 資料の充実とポートフォリオ形式による実践の蓄積

本校の目指す確かな学力  
進んで人や学びとかかわり、意欲的に学習活動に取り組む態度  
～主体的な学び手～



**成果** H21全国学力・学習状況調査結果から ( )の数値はH19からH21の変化

- ・生活習慣の安定…朝食を毎日食べる 96.3%(↑2.1%) 自分で計画を立てて勉強 58.2%(↑8.0%)
- ・規範意識の醸成…学校の規則を守る 93.9%(↑10.0%) 困っている人を助ける 79.5%(↑4.2%)
- ・学習意欲の向上…家で宿題をする 85.2%(↑5.4%) 数学の勉強は大切だと思う 85.2%(↑8.1%)
- ・学力の向上…国語A・B、数学A・Bすべてで県平均・全国平均を上回る

### 小・中連携に重点を置いた取り組み

#### 小・中併設型(校舎一体型)の例

<B小学校 学級数7>9年間を見通した指導や授業づくりの基本軸を決め、どの学年、どの教科であっても共通実践することで、発達の段階に応じた、かつ連続性のある指導が継続・徹底され学力向上が図られています。

- 9年間を見通した指導
  - ・各教科における重点事項をまとめた「評価の観点と単元」を作成し、9年間で一貫した指導
- 共通した授業づくりの視点を設定
  - ・ねらい実現のための教材・教具の工夫
  - ・学び合い、高め合うための手立ての工夫
  - ・活動や考えのよさの評価

どの学年、どの教科でも小・中同じ視点で授業参観し授業改善に役立てている

#### 授業改善

小中共通の授業づくり  
小・中学校の教員で算数のコース別学習  
授業研究会では、小学校のきめ細やかさと中学校の専門性を生かした協議で授業改善

#### 授業連携

	書	数	理	英
小 4	A		B 週1	
小 5	B		B 週1	B 隔週
小 6	A	B 週1		B 隔週
中 1		B		
中 2				
中 3				

A: 中学校教員が小学校で指導  
B: 小・中教員でT T指導

#### 中学校区における連携の例

<C中学校(学級数5)と小学校2校>小学校から中学校への円滑な橋渡しを目的に、地区校長会と教務主任会が中心となり、生徒指導や授業改善などについて研修会を行い、特色を生かした小・中連携を行っています。

#### 連携のための打合せ、研修会

地区校長会…総括  
教務主任会…年間行事等の調整

合同研修会  
新入生の近況報告や  
生徒の情報交換

研究主任会  
研究会での交流  
出前授業打ち合わせ  
外国語活動のサポート

#### 授業改善の連携

国語と算数・数学の学習状況調査結果を共有・分析し、共通実践事項を設定し授業改善

#### 特色を生かした連携

中学校教員、中学校生徒が小学校へ出前授業

